

学校を地域にひらき、地域と結びつき、共に子どもをはぐくむ

部活動を地域に！

令和5年度から3年間で「休日の部活動を地域に移行する」方針が国から示され、日高町では、学校運営協議会で検討を始めました。11月29日には、富川公会堂で説明会を行いました。説明会には、学校運営協議会委員、スポーツ協会、スポーツ少年団、PTA関係者、学校職員の皆様にお集まりをいただきました。登別市の「総合地域スポーツクラブ」の磯田理事長（道の支援アドバイザー）から、地域移行の考え方や取組の実際について説明を受けました。

《国の部活動改革の目指す姿》

- スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことのできる機会を確保
- 部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出
- 持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保



財源・費用負担は？
運営団体の確保整備
指導者の確保は？



《地域移行の受皿》

- 地域スポーツクラブ等に移行する
- 外部指導者が「部活」を指導する
- 教員が兼業として報酬を得て指導する

主体は児童生徒！「やってみたい」がかなう仕組みづくりが大切

日高町では、各学校運営協議会で、地域移行の際にどのような課題があるのか検討をすることとしています。

わーっ！大きいな！

見て→乗って→感じて

富川小学校の1年生が「はたらく自動車」を近くで見て、乗車して、その迫力を感じました。国語の学習で文や写真から学んだことを実際に確かめ、その迫力に目を輝かせていました。室蘭開発事務所の協力をいただきました。ショベルカーや除雪車のパワーに大満足でした。子どもたちの学びを支える取組の一つです。地元企業の皆様には、キャリア教育（職業体験等）でもお世話になっています。

11月2日 磯田組「はたらく自動車」

